



富谷市立東向陽台中学校だより

公孫樹 [前進 ～グローバル 友と共に前へ～]

R5.1.13 (金) Vol.12

自立・協働・創造

文責：教頭 佐藤

あけましておめでとうございます

2023年もよろしくおねがいします

全校集会での校長先生のお話



明けましておめでとうございます。令和5年、2023年の新春を迎えました。今年の冬休みは、市内に大雪が降ることはなかったものの、全体として氷点下の冷え込みが続き、冬らしい凜とした正月となりました。

そんな中、皆さんはどのような冬休みを過ごしましたか。私は、この冬休みに人生で初めて子犬を家族の一員として我が家へ迎えて、飼うことにしました。「いきもの」を飼う責任を強く自覚しつつ、しっかりお世話をしながら育てていこうと誓った新年のスタートでした。

さて、本日の今年初めての学校集会では、皆さんに「言葉」についてお話をしたいと思います。言葉の力はすごいものです。「たった一言が人の心を傷つけ、たった一言が人の心を温める。」言葉の暴力も、救われる思いがする言葉もこれにあたります。大人であっても同じです。言葉は心して使わなければいけません。ここで詩を紹介します。

その一言で励まされ その一言で夢を持ち その一言で腹が立ち
その一言でがっかりし その一言で泣かされる
ほんのわずかな一言が 不思議に大きな力を持つ ほんのちょっとの一言で…

この詩は、東京都荒川区の幼稚園 元園長の高橋 系吾さんの「その一言」という詩です。短い詩の中で、他人から言われた一言から、自分の心の持ち方に大きな違いが生まれることを表しています。「その一言」を言う人は、「相手を支えてあげたい」という心からの気持ちを伝えたいものです。こんなことを言ったら相手の心を傷つけてしまうかもしれない。怒らせてしまうかもしれない。ということも考える必要があります。言葉は本当に大きな力があるのです。これからは、自分の感情を整理して、相手にどう伝えるか、どういう言葉遣いをしたらよいかを考えてください。

最後に、「一年の計は元旦に在り」年末年始には必ず耳にすることばです。正式には、「一日の計は朝に在り。一年の計は元旦に在り。一生の計は少壮に在り」と言います。

「一生の計は少壮に在り」とは、中学校時代に抱いた志、そして生き方が、その後の人生を大きく左右するという意味です。人間としての土台をつくる中学生時代、この3年間に自分自身を見つめ、将来について考えることが大切だということです。

3年生の皆さんは卒業式までの登校日が残り41日、1・2年生の皆さんは進級までの登校日が残り51日となりました。今年も、みんなで力を合わせ、最高の東向中を作っていきましょう。東向中生一人一人の飛躍を心から期待し、私の話を終わります。

【緊急連絡先】 ☆事件、事故は110番 ☆火災、救急は119番

○東向陽台中学校 022-373-8777

○土、日、祝日や夜間の緊急連絡、新型コロナウイルス感染症関連の連絡は
080-3124-4192 (教頭対応) までお願いします。

